

入試情報



学部入試

観光科学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試やAO入試など多様な選抜方式によって、多様な人材を受け入れます。

一般入試（一般選抜）では、高等学校等において基本とされる教科を幅広く勉強して偏りのない素養を身につけ、十分な基礎学力を修得した学生を選抜します。

前期日程では大学入学共通テスト（5教科7科目）、個別学力検査（2教科2科目）、および調査書により、科学的方法論に基づく観光科学を学ぶ理系分野の基礎学力を有し、本学科が求める学生像に合致した人を選抜します。

後期日程では大学入学共通テスト（5教科6科目）、個別学力検査（小論文のみ）、および調査書によって、論理的思考に優れ、本学科が求める学生像に合致した人を選抜します。数学・理科を履修した文系学生も受験しやすい入試です。

また、多様な選抜方法として、一般推薦入試、グローバル人材育成入試（AO入試）、特別選抜として、中国引揚者等子女入試、帰国子女入試、私費外国人留学生入試を実施します。入学試験に関して詳しくは募集要項をご覧ください。大学事務までお問い合わせください。

問い合わせ先：東京都立大学 アドミッションセンター（入試課） TEL 042-677-1111（代表）

大学院入試

観光科学域の入学希望者は、博士前期課程、博士後期課程ともに、8月または2月に実施する入学試験を受ける必要があります。また、4月入学と10月入学が選べます。

博士前期課程の8月入試科目は小論文、専門科目の筆記試験と面接、2月入試科目は小論文と研究実績や研究計画のプレゼンテーション面接です。博士後期課程の入試科目は2、8月入試とも、小論文とプレゼンテーション面接です。上記に加えて全受験者はTOEFL、TOEICあるいはIELTSのスコアを試験日までに提出する必要があります（評価対象）。詳しくは募集要項をご覧ください（<http://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>）。毎年5月頃に入学説明会を実施しています。試験前に必ず指導を希望する教員にメールで相談をしてください。

問い合わせ先：東京都立大学大学院 観光科学域 院試担当 Eメール kyomu@tmu.ac.jp

■ 観光科学科 / 観光科学域の沿革

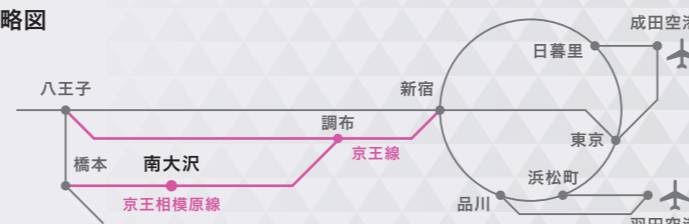
■ アクセス

■ お問い合わせ

観光科学科（学部）と観光科学域（大学院）を合わせて、観光科学教室と称していますが、観光科学教室は、2007年4月に都市環境科学研究科内の大学院観光科学専修として発足し、2008年4月には大学院博士前期課程1期生が入学しました。翌年には観光科学域として改組され、都市環境学部には自然・文化ツーリズムコースがつくられました。2010年4月には博士後期課程の学生の受け入れを開始し、都市環境学部の自然・文化ツーリズムコースには、学部3年時に他学部・他コースから転属するという形で、学部1期生を迎え入れました。そして、2018年4月には大学の組織再編に伴い、自然・文化ツーリズムコースは観光科学科と名称変更するとともに、念願の学部入試を実施して1年生から学部学生を受け入れることになりました。

観光科学科/学域は南大沢キャンパス9号館を拠点としています。南大沢キャンパスは東京都八王子市にあり、最寄駅は京王相模原線南大沢駅です。東京都心部からは新宿駅より京王電鉄にご乗車になり、橋本方面にお越しください。南大沢駅は特急・準特急電車も停車します。南大沢駅の改札口を出たら右へお進みください。アウトレットモールを抜けて大きな歩行者デッキを渡るとキャンパスが見えてきます。キャンパスに入った後右手に続く屋根付きの通路に沿ってお進みください。9号館までは駅から徒歩12分ほどです。

鉄道路線略図



南大沢駅からキャンパスまで



観光科学科/学域事務室（平日9:00から16:30まで）

192-0397 東京都八王子市南大沢1-1

東京都立大学 南大沢キャンパス9号館378室

電話 042-677-2664

FAX 042-677-2665

メール kyomu@tmu.ac.jp

ホームページ <http://www.comp.tmu.ac.jp/tourism/index.html>

東京都立大学 都市環境学部 観光科学科

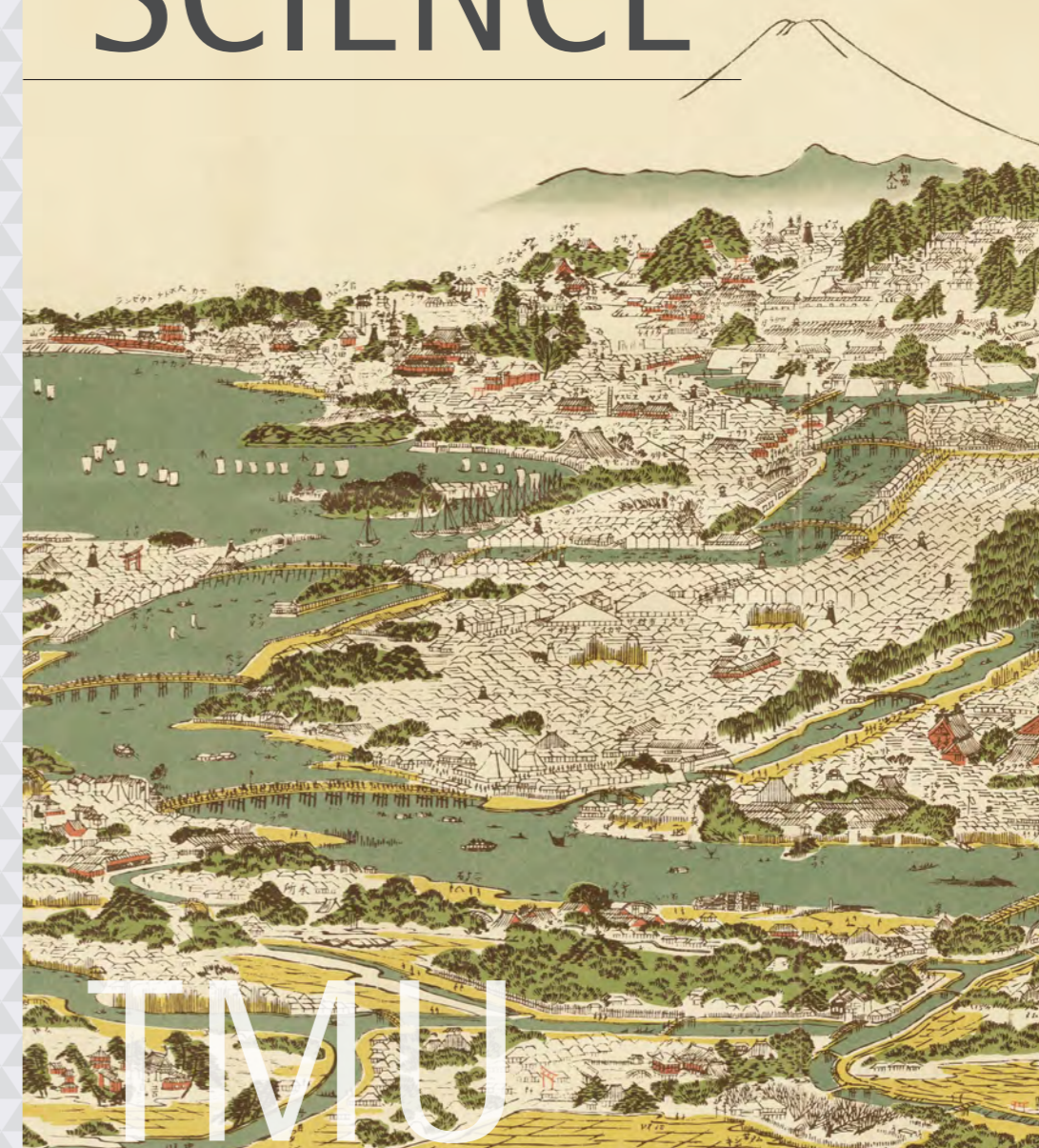
東京都立大学 大学院都市環境科学研究科 観光科学域

Department of Tourism Science

Graduate School of Urban Environmental Sciences / Faculty of Urban Environmental Sciences

Tokyo Metropolitan University

TOURISM SCIENCE



観光を科学する

環境資源に限られる日本の観光地域が今後発展していくためには、地域資源の保全に必要な生態学・地理学や、インフラ整備に必要な交通計画・都市計画、さらに観光行動を読み解くための情報科学・心理学といった理系の視点が欠かせません。東京都立大学の観光科学科で学ぶ「観光科学」は、観光にまつわるあらゆる事象を科学的な視点で解き明かす新しい学問です。観光科学科では、観光科学を通じて観光地域の発展に寄与できる、観光分野のスペシャリストを育成することを使命としています。また、現象解明から計画立案、観光振興の実績活動を担う技術者、コンサルタント、レンジャーなどの専門家、観光の総合的なマネジメントを行う実務的ジェネラリストを育てることを目標としています。



観光科学 観光科学域での学び



観光科学科/学域の教育上の特色は、以下の4点です。

- 第一には、「まちづくりや自然の適正利用」を支える幅広い観光の基礎知識を持つとともに、深い知見を持った専門性を有する「総合力と専門性」を身に付けるプログラムを提供していることです。
- 第二には、「まちづくりや自然の適正利用」のための具体的な現象や問題を理論的に解明し、計画立案するための調査手法や分析手法、表現方法などの「技術」を学ぶことです。
- 第三には、PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）という実際の地域・観光地をフィールドとした研究・教育方法により、現実の観光地域を持続的に発展させていく観点から地域の資源や現象を分析し、ときに提案的な社会実験を行い、これに基づき計画づくりを行う「観光地の診断から計画、実践まで」を体験・研究できることです。
- 第四には、東京都が2008年に創設した、自然環境保全を担う人材育成・認証制度『ECO-TOPプログラム』の第一号認定校として、自然環境分野の幅広い専門知識と様々な環境問題に対する様々な理念や価値観を体験的に学ぶことです。

求める学生



● 自然環境や歴史・文化、芸術、産業などの地域資源の 保全・活用や、観光地経営に関わる、理系や人文科学・社会科学系の講座や演習に興味のある人

● もの・人との共生や交流を通して、人に夢や活力を与える観光を学ぶ意欲を有する人

● 観光の調査から計画、実践までの技術を身につけ、社会に貢献する意欲を有する人

卒業生・修了生の進路



学部生の卒業後の進路としては、観光ビジネスに関わる旅行業や宿泊業のほか、人々の観光行動を支える運輸業、観光地の振興を支援する行政やコンサルタント、金融業など多岐にわたっています。大学院への進学者は本学域への進学のほか、学内他学域や他大学の大学院への進学実績もあります。

大学院修了者の進路としては、学部生と同様に観光に関わる幅広い分野へ就職しています。学部生と比較して、やや専門的な解析力や実践力が問われるコンサルタントや行政職などへ就職する割合が高くなっています。

